

ご挨拶

令和八年七月

曹洞宗 奕葉山 昌伝庵

住職 今成 幸裕

副住職 今成 健二

墓相について（一般論）

手相や人相などのように、墓を見ての運勢判断がありますが、私が長年墓地を管理してきて気付いた事がありますので、ここで一部お話をしようと思います。

まず、墓所（各家のお墓）の管理（墓石の補修や掃除草取り）は各家でします。

墓地管理料を払っているのだから、お寺でするものだと思っている方もいらっしゃるようですが、「墓地管理料」とは墓地全体を管理する為のもので、例えばアパートの管理人が住職だとしたら、アパートの共有部分を保全するための共益費のようなものなのです。ですから、各家の墓所の掃除等の管理は各家で行います。以前、広めの墓所の家の方がお参りに来られた時、「年に何回も草を取っている」旨をお話をしたら、「だったら除草剤を撒けばいい」と言われた事がありました。まるでその家の墓の草取りは住職がするものだと思っている節がありました。そう思ったならば、自分の墓所ですから

そうとうしゅう えきようざん しょうでん あん

自分で除草剤を撒けばいいのです。（除草

剤が良いかは疑問ですが）昌伝庵では、各家の墓所が草茫々でその種が弾けて周囲に広まるのが嫌で、墓地清掃のついでに多少の草は取り除いたりしています。苔なども取り除いたりしていましたが、これも果たして良いのか考えます。もし

余計なお世話だったのかもしれないし、しかし、苔は墓相では陰花となっており、あまりよろしくないのです。趣もある苔

ですが、お墓を掃除しながら苔も取り除いてあげれば奇麗になり良いと思います。墓地や寺は明るく清潔な方が気持ち良

いと思います。掃除は浄めでもあります。檀家さんの中には定期的にお墓を掃除される方もおられます。お盆やお彼岸、法事等の折に掃除をされる方も多いです。

尚、花以外のお供えはお持ち帰り下さい。なお、毎回思う事ですが、このような寺報の内容は、是非ご家族ご親族の方にもお知らせして頂き、多数の方々からご理解ご協力を賜れば幸いに存じます。

各種研修会のご案内

左の本山研修会をはじめ曹洞宗の置賜管内担当の第二宗務所では、毎年六月「特派布教師巡回」、また今年は八月二十六日に「檀信徒研修会」が開催されますが、開催日の確定が不定期の為、寺報での案内が間に合わない事もあります。参加希望の方は事前にお寺にお問い合わせ下さい。

本山研修会について（永平寺）

日時：9月6日（日）～8日（火）

内容：1日目 永平寺宿泊、能登半島巡り
2日目 能登和倉温泉泊
（要項は本堂に掲示してあります。）

会費：82,000円

申し込み：7月14日（火）まで、お寺まで
雁行人数に達しない時は再募集の可能性あります
※本山研修会は今後は隔年開催になります。
次回は令和10年、総持寺参拝になります。

懐かしの写真 No.12

今回は、平成26年～30年頃の様子です。
昌傳庵所蔵の經典や仏像の修復が、永年の念願
叶って、ようやく実現に向け進み出した頃です。



平成26年5月 長男が大本山永平寺の修行から3年半ぶりに帰って来ました。



平成27年9月 地下水がなぜか濁ってきたので、井戸の管を洗浄してみました。



毎年7月7日は大日如来の祭礼で、大日講中の夕食のクルミ豆腐を作っています。



平成28年10月 「檀信徒研修会」 毎年会場寺院を代えて行っているのですが、今回は昌傳庵が会場寺院に当りました。秋田県の住職さんの講話や、私も人権学習の講義をしました。フォークグループ影法師のコンサートしました。各年の研修会会場や日時はお問合せ下さい。



平成29年2月。茶の間廊下の雨漏り。屋根の雪が凍って溶ける頃や雨の激しい時、台風の時にはあちこち雨漏りします。



平成29年4月。 門の塀に懸けている昌傳庵の由緒書きが色あせてきたので、作り直しました。元々は大河ドラマ独眼竜政宗放映時、伊達家の寺への問合せに対処したもの。



平成30年5～7月。大般若600巻の修復終了。大正の大火で焼損した巻も、檀家の方のご協力を頂き修復が完成、翌年の4月、法要を復活しました。



平成30年11月。県指定文化財の大日如来像。県と市からの予算が付き、ようやく修復決定し、翌年春まで修復の為、東北古典彫刻修復研究所に運ばれました。